



松原小学校の校外学習で出前講座を行いました。

10月10日(金)に、「郷土を開く 古くから栄えた港」として、敦賀市立松原小学校の4年生が敦賀港を題材に校外学習を行い、ガイドつるが観光ボランティアの方と共に、昔の敦賀港を偲ばせる赤れんが倉庫やランプ小屋、資料館として復元された大和田家別荘(ムゼウム)や旧敦賀港駅舎、現フェリーターミナル等を見学しました。

この中で、当事務所は旧敦賀港駅舎において、昔の写真を使いながら、明治から現在までの敦賀港の移り変わりや現在取り扱っている貨物の種類・出入り先についての出前講座を行いました。



パネルを用いた昔の敦賀港の説明



明治から現在までの移り変わりをパネルで確認している様子